

# 「令和5年度 四国地方整備局

## 管内技術・業務研究発表会」について（報告）

■ 企画部 企画課 ■

「令和5年度 四国地方整備局管内技術業務研究発表会」を8月3日、4日の2日間、高松サンプォート合同庁舎にて開催しました。

今年度の開催にあたっては、新型コロナウイルス感染防止の観点から、一般聴講を発表会場3カ所からの同時ライブ配信によるオンライン聴講並びに後日、録画配信を実施しました。

開会にあたり、佐々木局長から「行政あるいは行政に近い分野の方々は、いろんな場面で一般住民の方にご説明する機会があると思います。技術・業務研究発表会というのは、直接分野が違う方、仕事に関係が無い方にお話をしてわかって頂く練習の場じゃないかと思います。その分野のプロと言うのは自分の言葉で噛み砕いて、伝えられると言うのが基本です。本番に備えるいい機会だと思いますので頑張って頂きたい。」との挨拶がありました。

発表会では、イノベーション部門、アカウンタビリティ部門、一般部門の3部門から57題の発表（※投稿数は58題）について、2日間で前年を大きく上回る延べ約900名（会場200名、WEB700名）の聴講者のもと、発表と活発な質疑が行われました。発表会は2日目プログラム終了後、森次長からの閉会挨拶で締めくくりました。

その後開催した審査委員会において、外部機関を含む20課題が優秀論文に選定されました。

最後に、業務多忙の中、開催にご協力いただいた関係者の皆様にお礼を申し上げ開催報告に代えさせていただきます。



佐々木局長 開会挨拶



森次長 閉会挨拶



第①会場の様子



第②会場の様子



第③会場の様子

令和5年度 四国地方整備局管内技術・業務研究発表会 優秀論文

部門別・発表順

部門	題名	所属	役職	氏名
一般	吉野川の治水史を踏まえた今後の治水の方向性	四国地方整備局 徳島河川国道事務所 流域治水課	技官	久保 大樹
一般	広域的な災害に強い地域づくりを目指した人材育成・地域連携の取組報告	四国地方整備局 香川河川国道事務所 工務第一課	係長	古谷 和代
一般	ダム操作中における危機的状況に対する備えの強化 —ダムコンダウン時を想定した独自のシステム対応—	(独)水資源機構 池田総合管理所 第一管理課	—	吉村 研人
一般	画像解析を用いた流量観測の精度検証結果の報告	四国地方整備局 那賀河川事務所 調査課	技官	滝口 央基
一般	水害の歴史を踏まえた安全・安心なまちづくり条例(日高村条例)	日高村建設課	治水対策室長	西村 篤史
一般	目指せ犠牲者ゼロ！～命を守る仁淀川流域治水プロジェクト対策～	いの町役場 総務課 危機管理室	係長	渡辺 智之
一般	官民連携プロジェクトチームによる流域治水マニュアルの策定について	愛媛県 土木部河川港湾局 河川課	主任	牧野 雅人
一般	新日下川放水路における施工中通水について	四国地方整備局 高知河川国道事務所 工務課	技官	秋田 祥太郎
一般	高松港朝日地区岸壁(-7.5m)における杭の支持力不足対策の検討について	四国地方整備局 高松港湾・空港整備事務所 保全課	技官	鳥袋 聖也
一般	AI流入量予測を活用したダム管理	四国地方整備局 河川部 河川管理課	技官	佐原 大理
一般	那賀川における侵食対策事業を活用した浅瀬の再生について	四国地方整備局 那賀河川事務所 工務課	技官	大島 史也
一般	潜在的事故リスク評価による事故危険箇所の特定	四国地方整備局 中村河川国道事務所 道路管理課	技官	矢野元 智也
一般	地震・津波対策事業における景観・利便性に配慮した検討	四国地方整備局 高知港湾・空港整備事務所 保全課	技官	畠中 直樹
一般	国道33号での交通需要マネジメントの取組み	四国地方整備局 松山河川国道事務所 計画課	技官	竹内 伸幸
一般	ローコスト開発による既存システムの補完	四国地方整備局 総務部 人事課	事務官	澤田 幾弥
アカウントビリティ	新日下川放水路におけるインフラツーリズムの取組み	四国地方整備局 高知河川国道事務所 計画課	係長	福増 綾乃
アカウントビリティ	きて！みて！知って！徳島環状線 ～イオンモール徳島との連携～	徳島県 東部県土整備局<徳島>	主事	林 友海
イノベーション	トンネル設計におけるBIM/CIM実施報告	四国地方整備局 徳島河川国道事務所 計画課	技官	富士本 南美
イノベーション	港湾工事におけるDX推進による私たちの取組み	四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所 保全課	係長	上邨 知輝
イノベーション	今治道路橋梁建設現場での建設DX(インフラDX)の取組みについて	四国地方整備局 松山河川国道事務所 工務第二課	技官	高田 知世